



金目川水系流域ネットワーク

世話人会

せせらぎ通信

台風19号の脅威

その時金目川は 人は、生き物たちは

不安でたまらない、「コロナ禍は「前に進む」とする意欲を消してしまい、漂う不安です」「人の行き来が途絶えて、人は、どの様に生きていくのだろうか？

2月は枯れ木だったが、今は若葉青葉が目にする自然の風景は、なんと大きな癒しを与えてくれている。芭蕉が詠んでいる“あらたうと青葉若葉の日の光”。私たちの心に新しい灯を与えてくれます。



台風19号 濁流 今にも氾濫しそうだ

2020年と2019年には試練の災厄災難が押し寄せてきています。以下は2019年の自然災害のレポートです。

恐ろしい、強風と豪雨の台風19号が伊豆半島に上陸して関東東北を襲来しました。

その時、金目川は、もう少しで氾濫の危険水域に達して、どう避難しようかと、息苦しい思いは、息苦しい思いのきわみでした。家の周りの、水回りは大丈夫か、しつかりと、何度も見回り、我が手とスリッパで、雨の降るなか、仕事しました。強風で屋根は大丈夫か、心配の種は尽きません、妻は2つのリュックに最も必要なものを詰めて備えました。

NHKのニュースは「命を守れ」と何度何度も放送していました。ひ弱になった私や妻には厳しい思いがありました。



台風後の翌日の10時の金目川

生い茂っていた夏草はあとかた無し

80歳を超えた私にとって、自然災害の脅威は最大級の恐れでした。体力の低下は気持ちを奮い立たせたが、いかんともしがたい事実です。

息子からの避難においてこの連絡は、天の助けだ。高台に住む息子宅は安全で、ほっとしてあなたかいい気持ちになりました。

知人が撮影した金目川の台風19号の写真を見てさらに恐怖は高まりました。

翌13日の快晴の午前、心配で金目川の実査をいたしました。川は濁流だ。生い茂っていた川原の雑草は跡形もなく、川原は砂利と礫に急変していました。金目川の左岸や右岸、あちこちの箇所が氾濫の危機がすぐそこであったと実感しました。



同じだ、生い茂っていた夏草、あとかた無し



台風 19 号から 4 日後、金目川「飯島堰」

台風 19 号が去って、4 日たった 16 日に再び、金目川の実査に出かけました。濁流が白濁の流れに変わっていた。S 字のカーブに沿って流れ、当たるどころは低くなり強く当たっていません。S 字のカーブはそこかしこにできていて、半端でない強い流れになっていました。S 字によって、更に川の流れの勢力が増すのかと思いました。途中の金目川で、カルガモが 7 羽、嬉しそうに泳いで私を歓迎してくれたが、すぐに川の中央へ泳ぎ去っていった。

金目川
飯島堰

魚はどっしっているかと思ひ、湧水ポイントで集中して目視を続けたが、魚の姿を視認できませんでした。台風前の 10 月上旬、強いリーダーが先頭に立って引率するアユの群れを目視したばかりでありましたが、台風の前とは見る事ができませんでした。金目川の高老たち「ヌカエビ、ヌマエビ、スジエビ」がここ 4 年の間にシナヌマエビ外来種に侵されて、今ではほとんどがシナヌマエビの天下です（東海大学北野教授の見解）台風 19 号で水辺の水草やヨシがなくなつて、生き残れるかを調査してゆぐべきと考えます。特に、ヨシの根をすみかとしているヒラテナガエビが懸念されます。大きな岩も台風で流され、U 字ブロックも流されて、魚たちが心配です。

（古老の語りから）
アユは古事記の時代から 1300 年と長い年月、日本の清流をすみかとして



4 日後 7 羽のカルガモ

さらに、コイサギがいつものようにジッとたたずんでいました。鳥たちは、もう、台風の前と同じようにしていました。魚はどっしっているかと思ひ、湧水ポイントで集中して目視を続けたが、魚の姿を視認できませんでした。台風前の 10 月上旬、強いリーダーが先頭に立って引率するアユの群れを目視したばかりでありましたが、台風の前とは見る事ができませんでした。金目川の高老たち「ヌカエビ、ヌマエビ、スジエビ」がここ 4 年の間にシナヌマエビ外来種に侵されて、今ではほとんどがシナヌマエビの天下です（東海大学北野教授の見解）台風 19 号で水辺の水草やヨシがなくなつて、生き残れるかを調査してゆぐべきと考えます。特に、ヨシの根をすみかとしているヒラテナガエビが懸念されます。大きな岩も台風で流され、U 字ブロックも流されて、魚たちが心配です。

て残っている立派な種です。今回の台風でアユの生き残ってきた知恵はなんだろうかと、驚いています。又、金目川は石の下にシマヨシノボリ、ボウスハゼがたくさんいますが、今回の台風で川底の石は流され、たどり着いたところの石の下でジッと生きているだろうかと。又、ヒゲナガカフトビゲラもしっかりと石の下にははりついて生き延びているだろう。このトビゲラは石との接点に強くついているので、この台風の巨大攪乱で新しい住みかを作っていると私は信じています。

台風の前から、吾妻橋、新霞橋の付近は川底の整備が行われていました。ただ、効果が実証されたようです。ただ、金目川の土手の高さが河床から 4 ｍのラインですが、巨大豪雨に耐えることが、懸念になった次第でした。



4 日後 白濁の流れ

文責 柳川 三郎

きらきら光る 金目川

～パワーポイント～

金目川の水温が上昇している 分析 & 課題

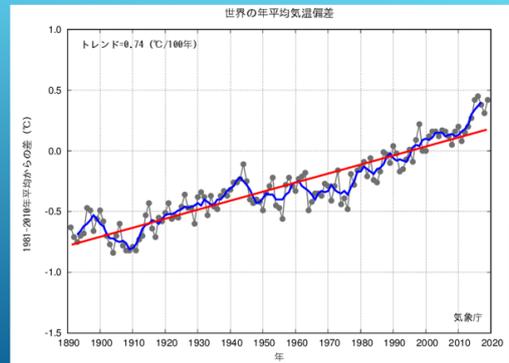
2020.2.2

金目川水系流域ネットワーク 2005年から2018年調査まとめ



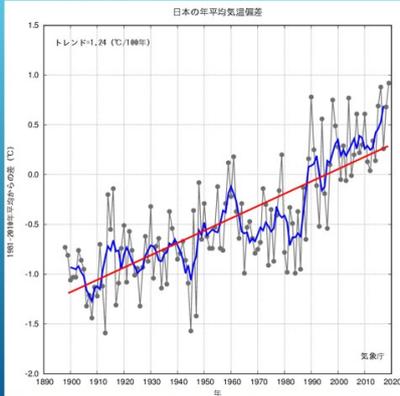
青い素敵な地球になにが起きて
いるのでしょうか

世界の年平均気温の推移 (100年あたり0.74℃上昇)



気象庁ウェブサイトより

日本の年平均気温の推移 (100年あたり1.24℃上昇)

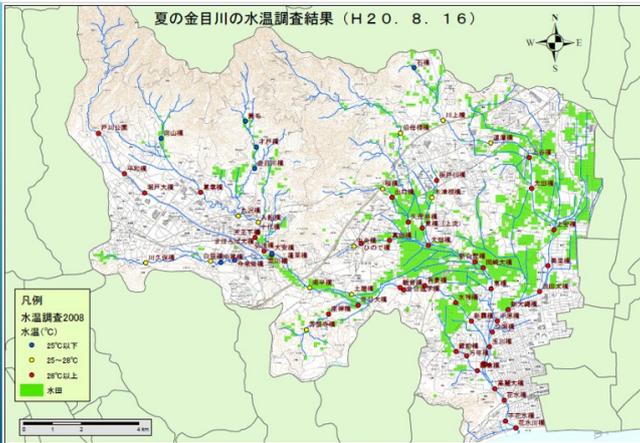


気象庁ウェブサイトより

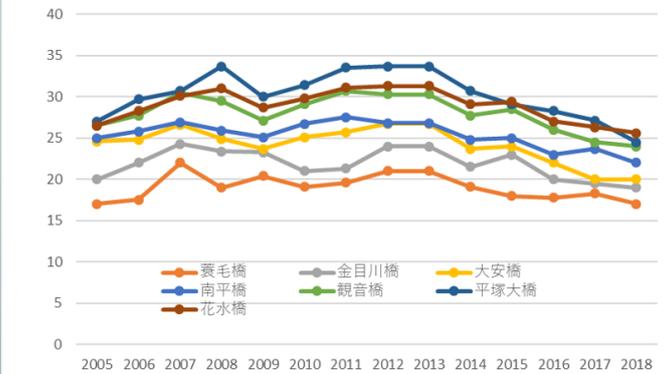


現在の金目川流域と相模川「上空」から
西岡 哲氏提供

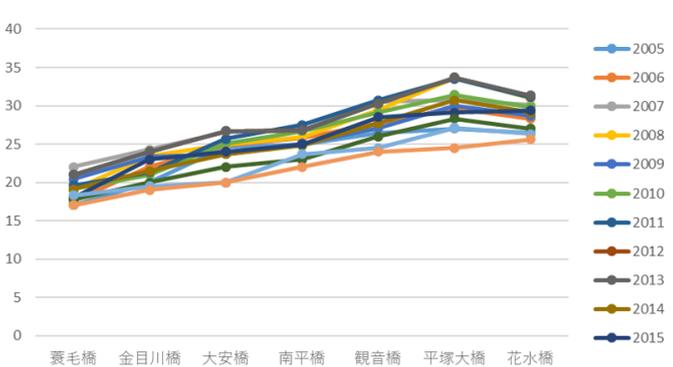
夏の金目川の水温調査結果 (H20. 8. 16)



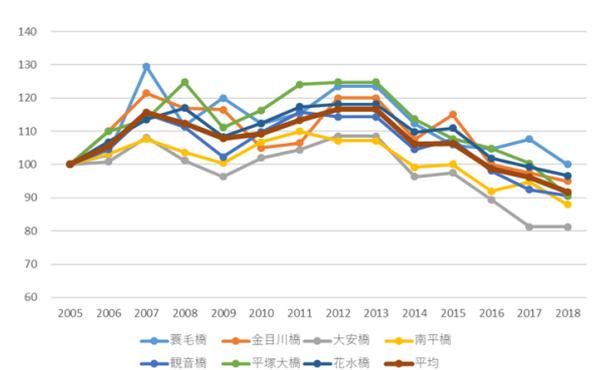
水温 (℃) 金目川の年による水温推移

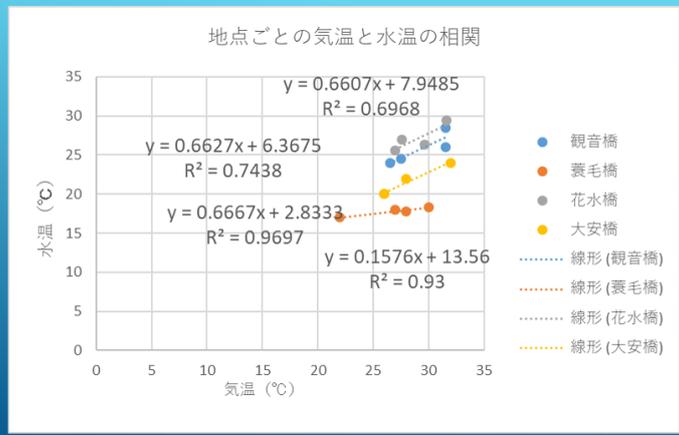
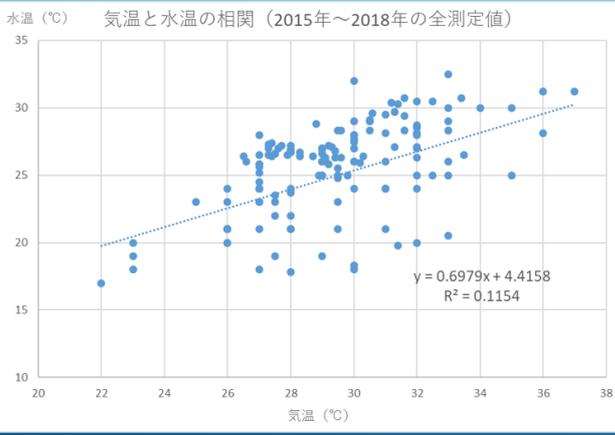


水温 (℃) 金目川の地点ごとの水温推移



水温 (相対値) 2005年を基準にした地点ごとの年による水温推移





- <問題提起>
- ◆ 金目川の水温は外気温との相関が強く、今後地球温暖化が進めば水温上昇が懸念される
 - ◆ 水温変化により川の生物に変化が見られるのか
 - ◆ このまま水温上昇が進むとどんなことが考えられるのか
 - ◆ 地球温暖化が当面続くことが想定される中、われわれの取るべき行動は何か？



「湘南里川づくり」取り組みのご紹介

写真は
2019年度の
「ひらつか環境フェア」
に出展し、会の活動を
PRしたときの写像で
す。



湘南里川づくりに一緒に取り組む「湘南里川見守り隊」を募集しています。詳細は、ホームページで！

湘南里川づくりみんなの会

検索

丹沢大山を源流に湘南地域を流れ、相模湾に注ぐ金目川（かなめがわ）水系。“湘南里川（せうなんりがわ）”とは、湘南地域のさまざまな川である金目川水系の河川等を地域の貴重な財産として次世代を担う子どもたちに引き継いでいくため、市民（湘南里川見守り隊）と行政の協働により清掃、草刈、植栽、生き物観察会など河川等の保全・活用に取り組む活動のことです。

この「湘南里川づくり」を流域全体に広げていくため、市民と行政とが連携し、設立された「湘南里川づくりみんなの会」。

「湘南里川づくりみんなの会」では、「湘南里川見守り隊」の会員を募集中です。

みんなで活動情報を交換したり、金目川水系の理想像について語り合いませんか？ぜひ、ご参加ください！

【「湘南里川づくりみんなの会」事務局】

お問い合わせ先

湘南里川づくりみんなの会事務局
神奈川県湘南地域県政総合センター企画調整課
電話 (0463) 22-2711 (内線 2111~3)